



市政を斬る!! 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

9月定例会の一般質問は、15日、16日の両日行われ、10名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。



三木 尚
議員

問① 地元高校の再編を県教育委員会が強く打ち出してきている。少子高齢化で3校を2校にするのが避けられないのなら県に強制されて不満足な形にするより、21世紀にふさわしい若狭の特徴もふんだんに持った高校を2校、地元から提案してはどうか。1校は若狭海洋高校または日本海洋高校という名前で英語中国語の語学重視、パソコンも必修、海洋実習船は常に世界を航海し希望により県内外の学校も参加できる。スポーツも奨励し全国上位を目指す。もう1校は進学高校とし互いの特徴を尊重する。

答 希望としてそのように歩んで欲しい。まちづくりの問題でもある。(教育長)

問② その場合、空いてくる高校跡地を当市の小学校統合化の候補地にするつもりはあるか。

答 現在まだ白紙の状態。

問③ 2巡目福井国体にどう対応するか。

答 重量挙げ、軟式野球、ラグビー、卓球、ゲートボールが可能であり誘致に努めたい。

問④ 今夏の異常な暑さは常軌を逸している。冷房を全小中学校につけるべき。

答 約2億の予算が必要となる。



下中 雅之
議員

問① 小浜市地域福祉計画策定の趣旨を伺う。

答 本計画は、本市の福祉行政の基本となる計画であり、本計画を基に老人福祉計画や障害者福祉計画、次世代育成支援行動計画等を策定している。

問② 地域福祉ネットワークの構築についての現状と取組み内容について伺う。

答 市では、災害時の要援護者支援プランの作成の際に、民生委員をはじめ、地区の自主防災組織や各区長の協力等により、支援が必要な方に対して、ご近所の方からの支援が

受けられる仕組みづくりに取り組んでいる。

問③ 失われていく地域住民のつながりや連帯感に対しての市長の見解を伺う。

答 審議会に諮問中の第5次総合計画において、地域福祉充実に向け、多様で質の高い福祉サービスの提供や地域の諸団体等の地域活動を支援することとしている。今後、福祉活動に多くの住民が参加でき、交流が広がるような取り組みを通して、地域ぐるみで支え合う住民の繋がりや連帯感を高めてまいりたい。



佐久間 博
議員

問① 文化会館運営は指定管理では貸し館業務になり、文化振興に支障は生じないか

答 小浜市行政改革プランで指定管理移行すべきと検討中だが、様々な事業展開にメリット、デメリットを精査し進めていきたい。

問② 芝居小屋、重伝建地区の空き家で琴や三味線の教室や発表会開催の考えは。

答 歴史や伝統文化を活かし、教育や地域力の向上、観光振興の面から実施したい。

問③ 食のまちづくり第2ステージの取り組みは。

答 特産品開発に取り組み、地場産農産物の販

路は関西大手百貨店など拡大してきている。

問④ 大切な幼稚園教諭、保育士を人件費削減のために嘱託職員化。その方々の待遇改善は。

答 保育園の統合等の状況を踏まえ、専門的な知識と経験の保育士の適正な割合に努める。嘱託職員が仕事に希望を持てるよう、職務内容、勤続年数を考慮し待遇改善していく。

問⑤ 小浜幼稚園と第1、第2保育園統合は。

答 運営は公立の認定こども園とする。ソフト面では保育と幼児教育の体制は変えず、互いのカリキュラムを活用する。



風呂 繁昭
議員

問① 「県民の将来ビジョンについて」従来の長期計画のような行政中心の枠組みでなく県民、団体、行政の思いを市・町の行政指針と位置づけし、地域の課題解決に向け「新しいふるさと」づくりの中、市長の政策提示は。

答 環境産業や農林水産業の振興による地域経済の活性化等について提案した。

問② 産業新展開のテーマが設定されているが、嶺南での電池産業やデータセンターの集積化であるが、小浜市の考え方を。

答 データセンターを誘致し、情報産業の集積化を促進。

問③ 「ふるさと納税について」ふるさと納税携帯サイトを開設できないか。大阪府では携帯電話からでも納税手続きができ、1億1,726万円納税されている。厳しい財政状況の中、知恵と工夫を出しては。

答 調査工夫していきたい。

問④ 市民意識調査の何が重要でその結果対応は。

答 今後の事業推進のための資料として活用。

問⑤ 市営住宅入居のことやシカの食害のこと、学校統廃合のことは、関係住民の意見を聞き進めてほしい。

答 困窮の高い方から入居。捕獲予算を拡大計上。



藤田 善平
議員

問 小学校統合問題について。4校統合の先駆けとして開校したはずの小浜小学校の児童数が平成26年度には、遠敷小学校単独より14人下回ることになる。市教委の言動に整合性がなく、東部4校の統合が遠敷小学校の老朽化に伴う早期建設を口実に、最初で最後の取り組み実現校となる恐れがある。話し合いの前提として少なくともスクールバスの対応をどうするのか。無料にするのか。ならばその通学距離の線引きをどうするのか。低、高学年、部活があり1日

何便にするのかなど、多くの課題がある中、廃校になれば児童の地区行事への参加の難しさなど、ますます遠のく子どものぎやかな声、過疎化、限界集落化は統合問題とは別問題と割り切れない地域住民の心配への現実をどう考えるのか。

答 ことし12月中に4地区合同の協議会への参加、不参加を決めてほしい。委員会の提言を踏まえ通学費の保護者負担の見直し、スクールバスの運行方法、便数を協議する。

録画配信始めました!!

9月定例会分からインターネットで本会議の録画配信を始めました。

ブロードバンド環境があれば、いつでも、どこでも議会が視聴できます。

今まで本会議をご覧になれなかった方は、この機会にぜひご覧ください。



小浜市議会 | 検索

ケータイで

議会情報をGet!!



URL はここから →



能登 恵子
議員

問① 男女共同参画、10年を経て内閣府男女参画の施行10年の反省として「男女共通した課題にも関わらず、女性のみの課題と認識・強調され、社会全体への意識改革や制度改革に至らなかった」小浜も条例制定より後退した感がある。①審議会・委員会への参加率を上げること。参加メンバーの固定化と長期化の解消。②審議会、委員会年総額22,657千円の見直し。③DV被害者対策へもっと予算を。

問② 小浜市の児童虐待対策

妊産婦から乳幼児、幼児、小学児童、其々のニーズに合ったきめ細かい対策が必要。特に見えにくい虐待対策にCAP事業を。

答 パソコンを使って、研究。

問③ つばき回廊跡地の活用について
中心市街地活性化基本計画の骨子は、固定されたものか、まだ柔軟な考えを受入れる可能性は。

答 観光客のみならず、市民が住みやすいまちにつながる、議員提案の高齢者マンションなどの整備も民間と連携、検討していきたい。



宮崎 治宇蔵
議員

問① 鳥獣害防止対策について。

答 23年度概算要求では、113億円の予算が示されたが小浜市全体が事業対象になるかは不明。

問② 白鬚商業棟固定資産税の不納欠損処理について。

答 今回の不能欠損処理は、つばき回廊商業棟の管理会社の破産手続きの廃止が決定されたことによるもので、ほかの法人の破産事例と同様に、地方税法、国税徴収法の規定に基づき行った。

問③ 給食調理員の体制について。

答 嘱託職員にかかる責任、負担が今後ますます

大きくなることが予想され、現在の体制、待遇を見直しなければならないと考えている。

問④ 使用済み核燃料の保管可能年数について。

答 青森県六ヶ所村の再処理工場の完成が延期になったが、当面大飯発電所の使用済み燃料ピットが逼迫することはない。

問⑤ 安全協定の見直しについて。

答 大飯発電所のEPZ内に、約1万6,000人の小浜市民が居住しており、原子力防災の観点からも安全協定は重要。改定についても、今後適宜対応してまいりたい。



井上 万治郎
議員

問① あいあいバスの今後の施策について問う。

答 小浜インターチェンジ（IC）の完成や、主要地方道小浜上中線沿いに商業施設等が進出してきたことから、府中や和久里方面へのバス路線の延長を検討する。ただ路線延長した場合のダイヤの問題などを解決する必要があり、問題点がクリアできた段階で、市地域公共交通会議に諮り、事業者等と協議を進めていきたい。

問② ポリテクセンター小浜分所本館を市で活用できないか。

答 本館の利活用策については、十分検討してきたが、市の施設として活用することは難しいと判断させていただいた。しかしながら、その後、同センター跡地への進出意欲を示している企業があり、本館の利活用について再度検討していきたい。

問③ 小学校統廃合の今後の見通しは。

答 東部4地区については、年内に合同の協議会への参加を決めてもらい、来年から新校舎建設地などの話し合いを始める。平成31年頃の開校を目指している。



上野 精一
議員

問① 寄贈を受けた「三井家御殿」の寄贈の条件、今までに要した経費、今後の必要と見込まれる資金はどうか。

答 寄贈の際、復元保存等の約束はない。また、平成13年に寄贈を受けてから今年までに要した保管料、運送費、調査費の合計額は1,800万円である。今後、必要とされる経費は23年までの調査費40万円、復元に要する費用は約8,000万円である。

要望 御殿の復元費用だけでなく用地代、庭園、塀、管理費等、復元費用以外に莫大な資金を

必要とする。小浜市が三井家御殿の復元保存に多くの市税を投じる必然性はない。今後十分に検討することを希望する。

問② 県下でレジ袋の無償配布をやめている状況はどうか。小浜市の今後の考えは。

答 地球温暖化防止の一環として県下の9市8町のうち、8市4町の大型店で実施している。小浜市では事業者の足まみりがそろわないので実施できていないが今後とも事業者の理解が得られる努力をする。



松崎 圭一郎
議員

問① ヘリコバクターピロリ菌について。ピロリ菌は、胃がんの最大原因と言われる感染菌だが、何故除菌の際に医療保険が適用されないのか。また、健康都市を目指す本市なら、独自の支援方法を考慮すべきと考えるが。

答 胃潰瘍等の確定診断がなされた患者しか適用されず、ほかは適用外となる。今後、地域の実情に即した独自の取り組みも検討する必要があると考える。

問② 特定失踪者と元死刑囚の来日について。失踪解明にと訪日させた金賢姫の成果が得ら

れず失策とされる中、拉致当事者市が一致団結し国民運動的な活動をすべきと考えるが。

答 柏崎・佐渡両市とは情報交換はあり、今後も川口市での開催等、関連自治体との更なる連携を図っていく。

問③ 工事の分割発注について。国から高速道路等の大型工事を含め、地域事業者へ応札機会との通達があったと思うが、現状は。

答 下水道管路工事についてはいくつかあるが、今後も分割発注等による応札機会を考慮していきたい。

もっと『開かれた議会』を目指せ!!

各地で議会報告会が開催されるなど、いま議会基本条例の制定などを軸にした『議会改革』が行われています。

各地で議会基本条例の制定などを柱とする議会改革が進められている中で、議会広報を初めとした『開かれた議会』への取り組みは、これからはますます重要な取り組みとなります。

このたび調査結果をまとめ、答申いたしましたので、概要についてお知らせします。

『みえる議会』の推進

〔現状〕

本会議中心の情報公開

会議録の作成、公開、
テレビ中継など

+

公開情報の拡大

委員会会議録の公開、傍聴しやすい柔軟な議会運営など

各種広報媒体の活用

テレビのほか、パソコンや携帯機器などの新たな広報媒体（メディア）の活用を検討、実施

市民が知りたい情報を

議会だよりや議会ホームページの充実化など

新時代への対応

ブロードバンド時代の議会広報へ

インターネット会議中継や録画配信など、議会広報のブロードバンド化推進

デジタル化の推進

議場カメラや音響設備の改修など、デジタル化への対応

多様なライフスタイルへの対応

会議の土日夜間開催の検討など柔軟な議会運営への提言



このたび行われた議会と各種団体との意見交換会



清水議長へ答申する井上委員長、宮崎副委員長